

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

共生社会の実現に向けて、文化芸術活動を通して、世代や分野を超えた多様な人々がお互いにつながり、自らの価値観をかたちにすると同時に多様な価値観に触れる体験（インクルーシブ体験）をできる場、社会関係資本を豊かにできる場が身近な圏域で求められるが、その推進は十分果たされていない。

こうした課題に対して、現在全国各地で地域コミュニティの衰退等に課題意識をもった「多世代交流活動」が推進されており、全国に急増するこども食堂もその一つといえる（2023年に9,131箇所と中学校数とほぼ並ぶ。78.4%が参加条件なく、すべての地域住民に開かれている）。こどもをはじめとして多様な地域住民が集う「地域の居場所」には共生社会の実現を推進する高いポテンシャルがあると考えられるが、そうした場を活かした文化芸術活動によるインクルーシブ体験の機会創出は、いまだ不十分である。また、いわゆる「ごちゃまぜ」の多世代交流拠点にアウトリーチし、その場に合ったプログラムを実施できる人材も、十分に育っていない。

そこで、これらの課題を解決すべく、組織的かつ持続的に活動が可能な特定非営利活動法人を取得し、「地域の居場所でのアートワークショップ」を通して、つながりのなかで一人ひとりの可能性が多様なかたちで引き出される地域の居場所づくりの普及・展開に寄与することで、インクルーシブな地域社会を実現していきたい。

2 申請に至るまでの経過

令和5年10月 特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえが呼びかけ人となり、共生社会に資する文化芸術活動について豊富なノウハウと全国的なネットワークを有する団体や有識者・実践者とともに協議体（クリエイティブリンクワーカー推進協議会）を立ち上げる。

令和6年5月 法人設立の検討を開始する。

令和6年12月 任意団体 CASK を設立

令和7年3月 設立総会を開催。

令和7年（2025年）3月31日

NPO 法人 CASK
設立代表者

氏名 山内 泰